

内容項目名	(内容項目 D- (4))		
資料名	「いのちがいっぱい」(出典「千葉県教育委員会」)		
学校名	市川市立国分小学校	指導者	堀之内 麻美

1 学習指導案

小学校2年2組 道徳学習指導案

平成29年11月8日(水) 5校時

(1) 主題名

「自分のまわりの「いのち」あるものへの気付き」

(2) ねらい

自分の身近に命があることに気付いた美久の姿を通して、自分の身のまわりにある命に目を向け、命を大切にしようとする心情を育てる。

(3) 主題設定の理由

2年生では、野菜の苗を植え、育てて収穫したり、夏にはプールにヤゴ取りに行き、ヤゴを育てたり、様々な生き物を飼育している。1年生に生きものを紹介をしたり、ヤゴの羽化を観察したりと、様々な体験活動を通して、身のまわりにある多種多様な「いのち」の存在に気付く場面が多い。

本資料では、主人公である美久は、自分の誕生日に犬を買ってもらえることになっていた。しかし、美久は母の出産を理由に、犬を飼う時期が遅くなったことに対して不満を感じている。幼馴染の大地も、亀を飼っているが、美久との会話を通して犬を飼いたいと思うようになる。母親に犬を飼いたいと言うが、亀の世話を母親に任せている状態の大地に、「今いる亀のことを大事にしてください。」と言われてしまう。美久が母のおなかをさわりたいがらなかったり、父親から姉になることへの自覚を促されることを嫌がったりしている様子を見て、母は心配になる。

美久の母の提案で、美久は動物愛護教室に行くことになり、動物愛護教室で実際に犬と触れあった体験や獣医師の菅谷さんの言葉から、犬にも大切な命があることについて父に話すようになる。そして、これから生まれてくる赤ちゃんの誕生を素直に楽しみにすることができるようになるという資料である。動物愛護教室での体験を通して、これから生まれてくる赤ちゃんの命を大切に思えるようになった主人公「美久」の気持ちに共感させ、自分の身のまわりにある命に目を向け、命を大切にしようとする心を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

「命があるからこそ、体にはぬくもりがあり、心臓の鼓動が規則的に続いていること。」という「生きている証」を感じることの中から、全ての生命の尊さについて考えられるようにしたい。

(4) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (5)	1 自分たちの身のまわりにある命について発表する。 ○みんなのまわりにはどんな命がありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分 ・家族 ・虫 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が身近に感じている命あるものの名前を聞く。 ・生活科の学習等で、児童が

	<p>○今日は映像を見ながら、自分のまわりにある命について考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動物 ・花 	<p>身近に触れあってきた生き物等を想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名や登場人物を知らせ、どんな内容なのか興味を持たせる。
<p>展開 (30)</p>	<p>2 DVDを視聴する。</p> <p>3 話を振り返り、美久の気持ちを考える。</p> <p>○美久は、レオンやムックと触れ合って、どんなことを感じたのでしょうか。</p> <p>○菅谷さんのお話を聞いて、美久はどんなことを思ったでしょう。</p> <p>○美久は動物愛護教室から帰った後、お母さんのお腹で動いている赤ちゃんにどんな言葉をかけたでしょう。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>【中心発問】</p> <p>○最初のころと比べると、美久はどんなことに気付けたでしょう。</p> <p>(ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓がドクドクする。 ・すごいな。 ・犬も人間と同じように心臓の音が聞こえるんだな。 ・かわいいなあ、ふわふわして、やわらかいなあ。 ・犬って、こんなにあったかいんだなあ。 ・犬を捨てるなんてひどい。 ・レオンとムックが生きていてよかった。 ・犬はおもちゃじゃない。 ・人間は自分勝手。 ・おせわしてあげるからね。 ・赤ちゃんにも命があるんだね。 ・お腹の中でも動くんだね。 ・楽しみにしているよ。 ・これまでごめんね、お姉ちゃんになるからね。 ・犬も赤ちゃんも同じ命があるんだ。 ・みんな大切な命がある。 ・命っていろんなところにあるんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護教室でどのように触れ合い体験を行っていたかをおさえてから発問する。 ・レオンやムックの体のぬくもりや、心臓の音を聞いた場面から、生きている証について考えさせる。 ・動物愛護教室での体験から、美久と大地が、身のまわりにある命の大切さに気付くようになったことを押さえておく。 ・動物愛護教室のことだけでなく、帰り道に美久と大地が発見した命についても押さえる。 ・今までは「赤ちゃん、嬉しくないもん」と言っていた美久の気持ちの変容を通して、価値に気付かせる。 ・最初に描いた絵と、どんなところが変わっているか比較させ、新しく描いた絵が、美久と赤ちゃんを中心にたくさん命に囲まれていることに気付かせる。

			◎自分のまわりにも命がたくさんあることに気づき、ワークシートに書いている。 (ワークシート・発表)
終末 (10)	4 今日の授業を振り返る。 ○この時間を振り返って、自分が考えたことや感想を書きましょう。 (ワークシート)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達のまわりにはいろいろな命がたくさんあるんだな。 ・自分の命も、家族、友達、ペットの命も、みんな大事な命なんだ。 ・自分が飼っているペットをもっと大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこととして考えることができるようにするとともに、級友の考え方をすることで価値の一般化を図る。 ◎命について、自分で気付いたことをワークシートに書いている。 (ワークシート・発表)

(5) 他の教育活動との関連

本校は、全校縦割りによる異学年との交流活動がさかんで、1年を通して縦割りグループで協力し、サツマイモを育てている。育てて収穫し、みんなで調理して食べる過程を通して、身近な命が自分の命にもつながっていくことにも今後気付かせていきたい。また、1月には生活科の「じぶんはっけん」で助産師さんを招いて、命の大切さを考える学習をする。自分がどのようにして生まれてきたのか、本資料を通して学んだ身近にある様々な命の大切さから関連させて、自分自身の命についてもさらに深めて考えられるようにしたい。

2 事後検討会

(1) 授業記録

T 今日は命について考えていきたいと思います。命と聞くとみんなのまわりにはどんな命がある？(みんな勢いよく手を挙げる。)

S 自分の命。動物。友達の命。家族の命。

T そうだね。たくさんあるね。

S 草も木もそうだよ。

T そうだね。今日は「いのちがいっぱい」というビデオを見ながら、身のまわりにある命について考えていきましょう。主人公は、美久という女の子です。

(DVDを視聴)

T どんなお話だった？美久は最初どんな子だったかな？

S 赤ちゃんがもうすぐ生まれるところ。

T そうだね。赤ちゃんが生まれるんだよね。

S でも赤ちゃんいらないうって思った。

S 犬がほしかったから。お姉ちゃんになりたくないって…。

T この後、美久と友だちの男の子はどこかに行ってお勉強しましたね。

S 動物の…動物愛護教室。

T そこでレオンとムックに会いました。そこで何かの音を聴きましたね。

S 心臓の音。

T そうだね。レオンとムックと触れ合って、美久はどんなことを思ったかな。

S 犬にも命がある。

T なるほど。犬を飼っている人、手を挙げて。その人たちはどうですか？

(7～8人が手を挙げる。)

S あったかい

S ふわふわしているよ。

S さらにさらしてなでると気持ちいい。

T レオンとムックはもともと捨てられていたね。美久は菅谷さんのお話を聞いてどう思ったかな。

S かわいそうだな。

S そんなことするなんてひどい。人間は自分勝手。

S 犬とか草とか、たくさん命があるんだな。命があるのは当たり前と思ったけど…

S 赤ちゃんを邪魔に思っていけなかったな。

T なるほど。美久は大事なことを学んだんだね。動物愛護教室の帰りはどうだったかな。

S 命をたくさん見つけた。

S 猫とか！

S 花と鳥とか。

T そうだね。大事なことを学んで美久はお家に帰りました。帰ってお母さんのお腹にいる赤ちゃんにどんな言葉を掛けたかな。ワークシートに書きましょう。(ワークシートに記入)

S こんにちは。これからよろしくね。

S 今までごめんね。

S 元気に生まれてきてね。

T 美久は動物愛護教室に行ったあとに絵を描いています。(2枚の絵を掲示し比較させながら)最初にも描いたんだけどどうかな。

S あ！違う。命がある！

S 花とかテントウムシとか！

S 赤ちゃんがいる！

T 最初の頃を比べてどんなことに美久は気付けたのかな。ワークシートに書きましょう。(ワークシートに記入)

S 何にでも命があるんだな。

S 犬は人間と同じものは食べられない。

S 犬にも心臓があるんだな。

S 命は大切だな。命がいっぱいあったな。

S やっぱり命ってすごいんだ。

T 美久とたくさん勉強できましたね。では今日の感想を書きましょう。

S 草にも動物にも虫にもみんな命があるんだと思いました。

S 私も猫を飼っているけれど、命があるから大切にしたいです。

S 花にも命があるって初めて知りました。

S 私の命も大切にしたいし、他の人や動物の命も大切にしたいです。

S 命はたくさんあって、そこからまた命が生まれるんだなと思いました。

T みんなとても素敵な感想です。これからも身のまわりの命を大切にしたいですね。



(2) 授業の感想

(児童の感想)

- ・花みたいな植物でも命がついているんだから大切にしようと思いました。
- ・命ってすごいなと思った。命は大切なんだなと思った。命はいろいろなところにあるんだなと思った。
- ・いいお話だったなあ。ぼくも命を大切にしよう。身のまわりの生きている動物で勉強したい。ぼくもいろんな動物や虫を飼ってみたい。
- ・美久ちゃんは、今は赤ちゃん早く生まれてほしいって思っているんじゃないかな。赤ちゃんも犬の命も大切にしたいな。
- ・やっぱり命は大切なんだと思った。植物にも命があるってびっくりしました。
- ・地球で命は何個あるのかなあって思いました。
- ・命は生きている証拠なんだなあと思いました。命がないと生きていけないんだと思いました。

(保護者の感想)

- ・短い時間の中でよく「命の大切さ」について考え、気付かせることができていました。板書で、映像からの抜粋が多かった中、美久が描いた最初の絵と最後の絵の比較は美久の心の移り変わりが分かりやすくよかったと思いますが、何枚かは必要かどうかわからないものがありました。
- ・子どもの身のまわりに存在する身近な生きもの、自分や家族、友達の命を感じることでよい題材の授業だったと思います。動物（ペット）、自然の中の生きものの「いのち」は当たり前で気付きにくいこともあるかもしれませんが、クラスで話し合うことで、大切さを子どもたち自身で確認することは大切な時間だと思いました。
- ・日頃からの子どもたちとの関係がよく、親しみやすく和やかだと感じました。発言しやすい雰囲気でした。
- ・短時間の授業で映像をもとに展開するのは効果的だと思いますが、他の時間には映像ばかりではなく、先生の読み聞かせや体験などもあるとよいと感じました。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 映像を使った授業展開について

「いのちの大切さ」を扱う本資料は、映像を通して見ることで、主人公の視点から様々な角度で命について考えられると思い、映像を途中で切ったりせずに視聴させた。ただ、14分と映像が長く、話し合いの時間を十分に確保するのが難しいため、あらすじの振り返りを短くシンプルにしたり、映像が流れている間にあらすじの画像を掲示したりするか、もしくは授業時間を60分扱いにするなどの工夫が必要だと感じた。

(2) 画像の比較

主人公の美久は最初と最後に絵を描いており、その比較をすると児童はたくさんの違いを見つけ、とても活発な話し合い活動になった。そこから美久の心の変化を読み取ることができ、また、命の大切さへの気付きにもスムーズにつながった。また、あらすじの確認のための画像は白い画用紙に、比較させる絵の画像2枚はカラー画用紙に貼り、視覚的にわかりやすいようにした。

(3) 児童の机の配置

児童が互いの意見を聞き合い、それぞれの考えを認め合うことを大切にするため、机の配置をコの字型にし、友達顔が見えるようにした。児童は、友達の方を見て、発表をうなずきながら聞いたり、時には相槌を打ったりしながら聞いたりする様子が見られた。